

## 「持続可能な開発のための教育（ESD）に関する世論調査」の概要

平成 26 年 10 月 2 日

内閣府政府広報室

調査概要	調査対象	全国 20 歳以上の日本国籍を有する者 3,000 人
	有効回収数(率)	1,826 人 (60.9%)
	調査時期	平成 26 年 8 月 21 日～8 月 31 日
	調査方法	調査員による個別面接聴取
調査目的	持続可能な開発のための教育（ESD）に関する国民の意識を調査し、今後の施策の参考とする。	
調査項目	1 ESD の認知度 2 ESD を知った媒体 3 ESD に関するユネスコ世界会議の認知度 4 ESD について持ったイメージ 5 ESD に参加してもらおうための効果的な取り組み	

<お願い>

本資料の内容を引用された場合、その掲載部分の写しを  
下記宛にご送付ください。

内閣府大臣官房政府広報室

世論調査担当

〒100-8914 東京都千代田区永田町 1-6-1

電話 03(3581)0070

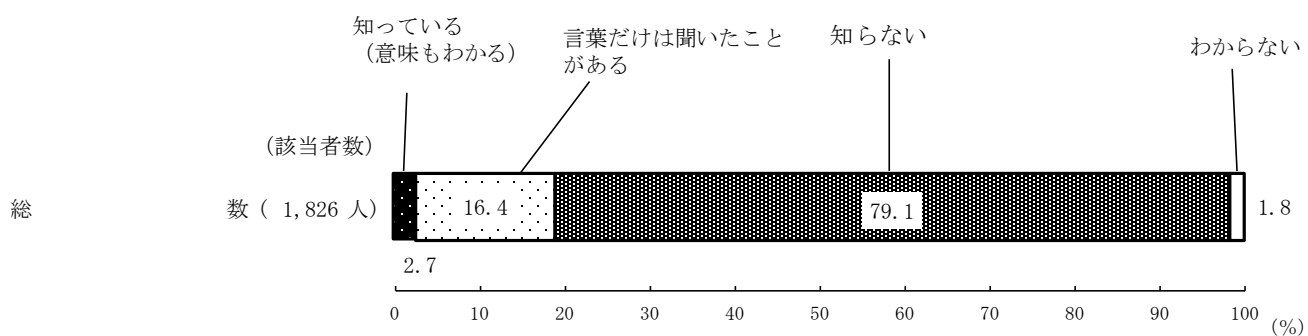
FAX 03(3580)1186

# 1 持続可能な開発のための教育（ESD）に関する認知度

## （1）ESDの認知度

平成 26 年 8 月

- ・知っている（意味もわかる） 2.7%
- ・言葉だけは聞いたことがある 16.4%
- ・知らない 79.1%



(ESDについて「知っている(意味もわかる)」,「言葉だけは聞いたことがある」と答えた者(349人)に)

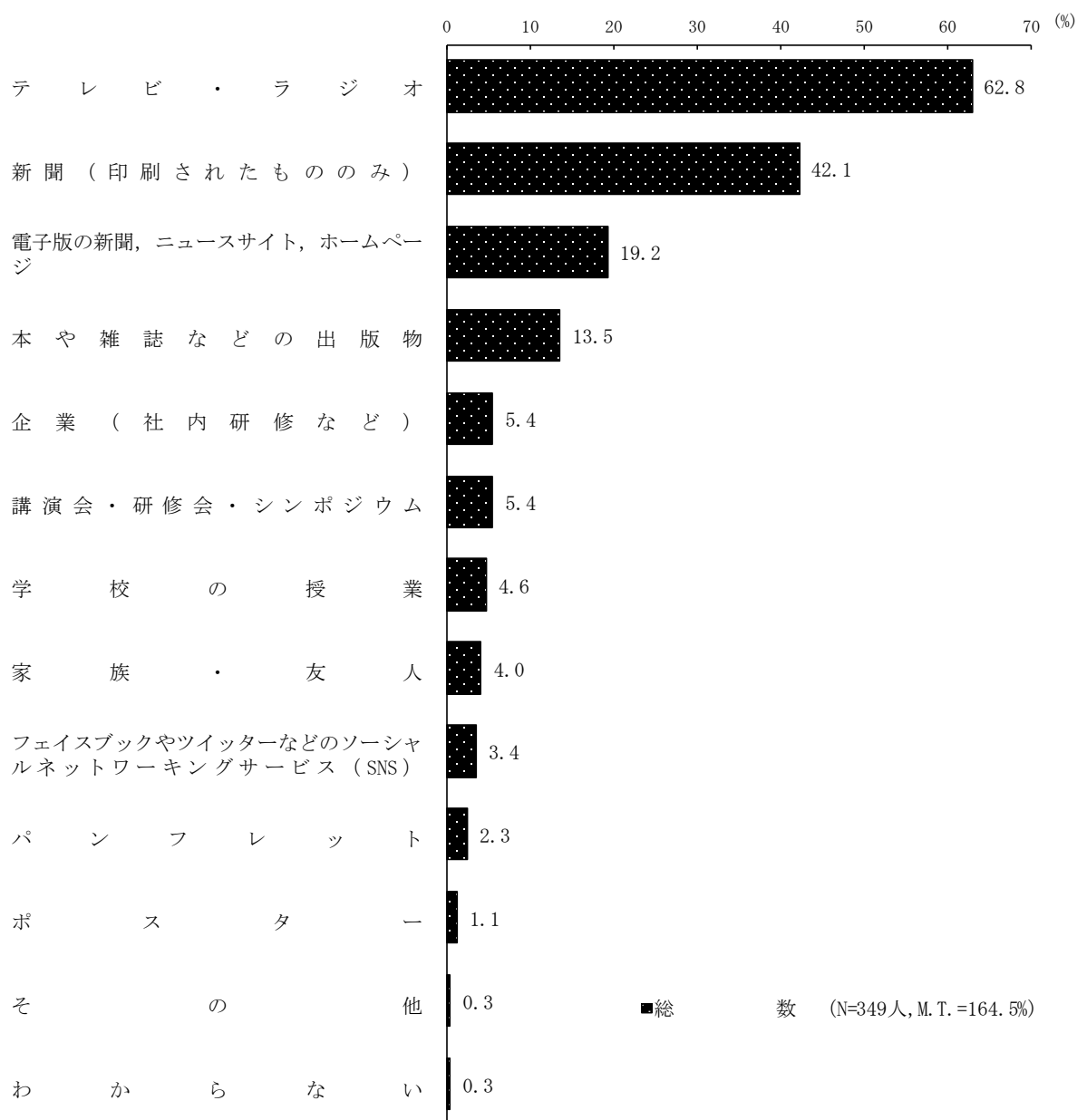
(ア) ESDを知った媒体

(複数回答, 上位4項目)

平成26年8月

・テレビ・ラジオ	62.8%
・新聞(印刷されたもののみ)	42.1%
・電子版の新聞, ニュースサイト, ホームページ	19.2%
・本や雑誌などの出版物	13.5%

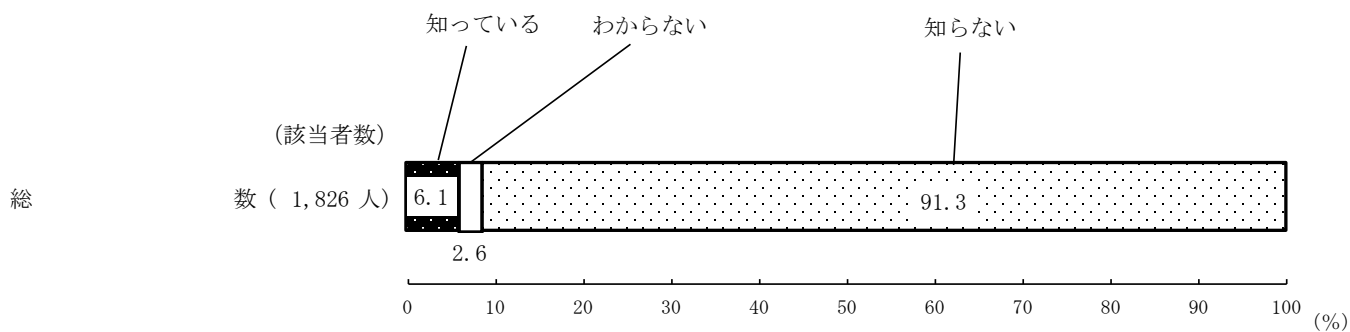
( ESDについて「知っている(意味もわかる)」, 「言葉だけは聞いたことがある」と答えた人に, 複数回答 )



(2) ESDに関するユネスコ世界会議の認知度

平成 26 年 8 月

- ・知っている 6.1%
- ・知らない 91.3%



## 2 持続可能な開発のための教育（ESD）に関するイメージ

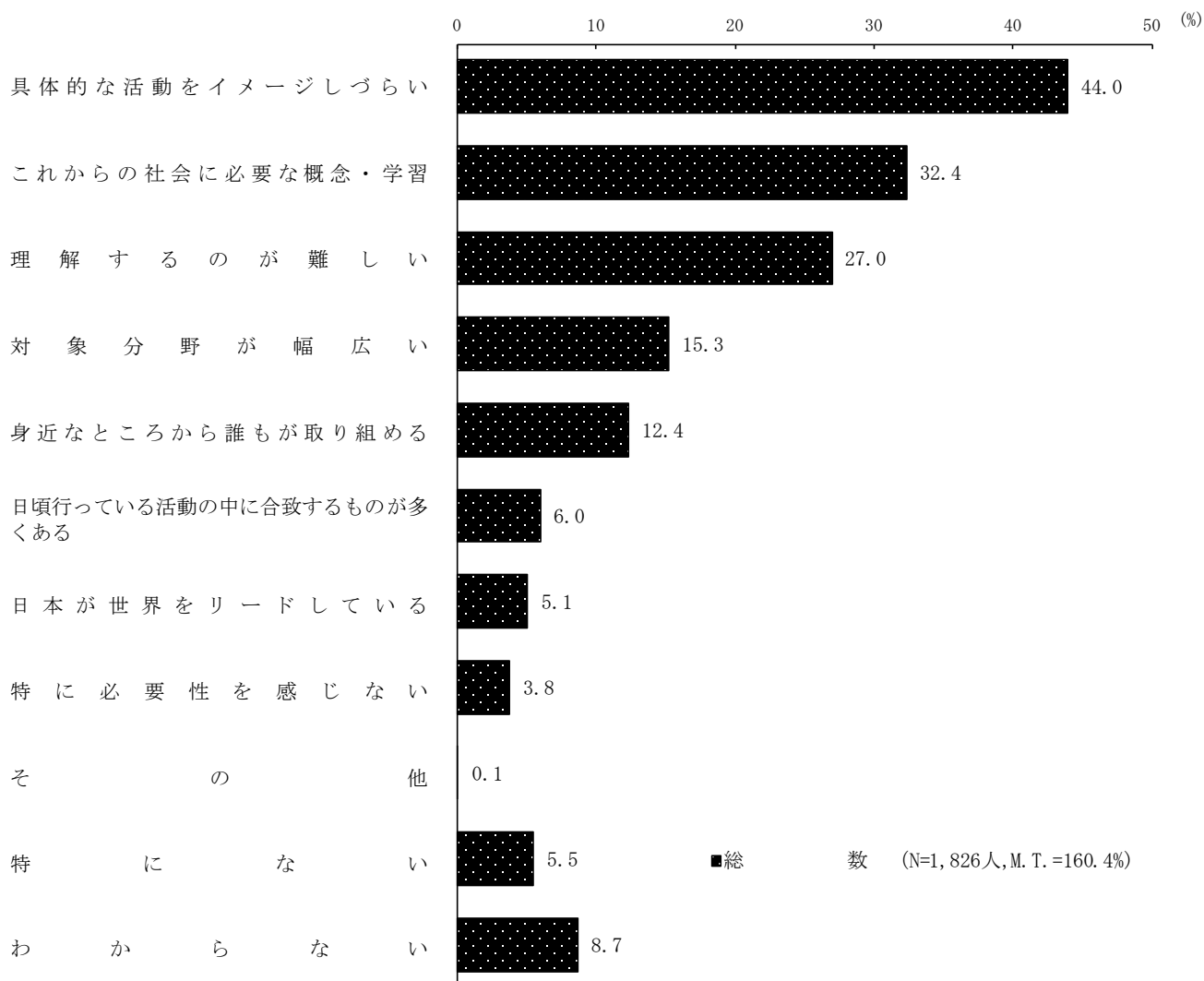
### （1）ESDについて持ったイメージ

（複数回答，上位4項目）

平成 26 年 8 月

- ・具体的な活動をイメージしづらい 44.0%
- ・これからの社会に必要な概念・学習 32.4%
- ・理解するのが難しい 27.0%
- ・対象分野が幅広い 15.3%

（複数回答）



### 3 持続可能な開発のための教育（ESD）に関する啓発活動

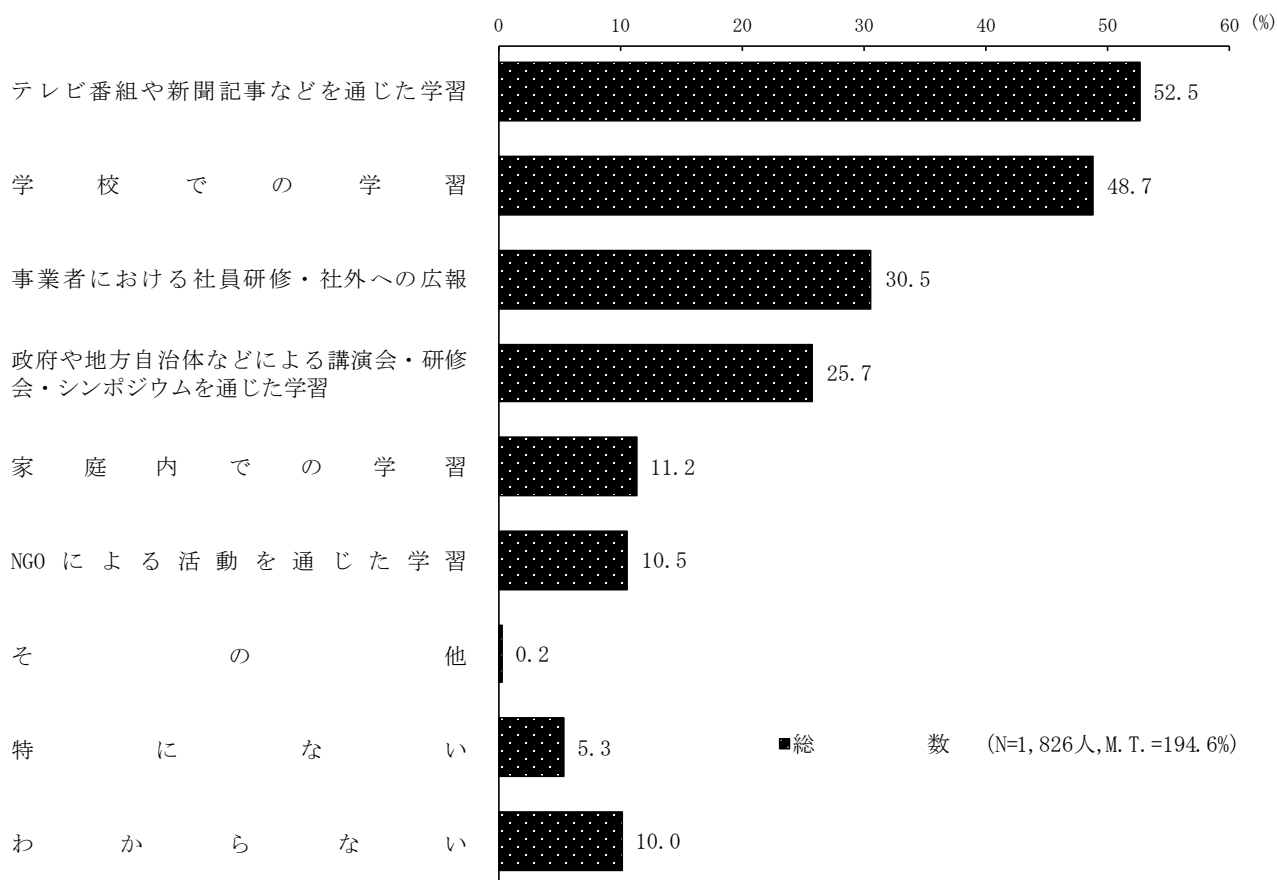
#### (1) ESDに参加してもらうための効果的な取り組み

(複数回答, 上位4項目)

平成 26 年 8 月

- ・ テレビ番組や新聞記事などを通じた学習 52.5%
- ・ 学校での学習 48.7%
- ・ 事業者における社員研修・社外への広報 30.5%
- ・ 政府や地方自治体などによる講演会・研修会・シンポジウムを通じた学習 25.7%
  
- ・ わからない 10.0%

(複数回答)



## 持続可能な開発のための教育（ESD）に関する世論調査

調査時期：平成26年8月21日から平成26年8月31日  
調査対象：全国20歳以上の日本国籍を有する者3,000人  
有効回収数(率)：1,826人(60.9%)

話は変わりますが、次に時事問題として、「持続可能な開発のための教育（ESD）」についてお聞きします。

### 1. 持続可能な開発のための教育（ESD）に関する認知度

Q1【回答票1】ESDとは、「持続可能な開発のための教育」と訳されていますが、あなたは、ESDについて知っていますか。この中から1つだけお答えください。

- (2.7) (ア) 知っている（意味もわかる）
- (16.4) (イ) 言葉だけは聞いたことがある
- (79.1) (ウ) 知らない
- (1.8) わからない

【Q1で「(ア) 知っている（意味もわかる）」、「(イ) 言葉だけは聞いたことがある」と答えた方に】

SQ【回答票2】あなたは、ESDについて、どこで知りましたか。

この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

(N=349)

- (62.8) (ア) テレビ・ラジオ
- (42.1) (イ) 新聞（印刷されたもののみ）
- (13.5) (ウ) 本や雑誌などの出版物
- (19.2) (エ) 電子版の新聞、ニュースサイト、ホームページ
- (3.4) (オ) フェイスブックやツイッターなどのソーシャルネットワーキングサービス（SNS）
- (2.3) (カ) パンフレット
- (1.1) (キ) ポスター
- (4.0) (ク) 家族・友人
- (4.6) (ケ) 学校の授業
- (5.4) (コ) 企業（社内研修など）
- (5.4) (サ) 講演会・研修会・シンポジウム
- (0.3) その他（ )
- (0.3) わからない (M.T.=164.5)

【全員の方に】

Q2【回答票3】あなたは、ESDに関するユネスコ世界会議が本年11月に我が国で開催されることを知っていますか。この中から1つだけお答えください。

- (6.1) (ア) 知っている
- (91.3) (イ) 知らない
- (2.6) わからない

## 2. 持続可能な開発のための教育（ESD）に関するイメージ

（【資料1】を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。）

### 【資料1】

ESDとは、Education for Sustainable Development（持続可能な開発のための教育）の略で、持続可能な社会を作るために、環境や開発、エネルギーなどの地球規模の課題を自らの問題として捉え、身近なところから行動を起こす力を身につけることを目指す教育のことです。

本年は、我が国の提案により国連で採択された「国連持続可能な開発のための教育の10年」の最終年であることから、11月にESDに関するユネスコ世界会議が愛知県名古屋市と岡山県岡山市で開催されます。

Q3【回答票4】あなたがESDについて持ったイメージはどのようなものですか。

この中からいくつでもあげてください。（M.A.）

- (32.4) (ア) これからの社会に必要な概念・学習
- (15.3) (イ) 対象分野が幅広い
- (12.4) (ウ) 身近なところから誰もが取り組める
- (6.0) (エ) 日頃行っている活動の中に合致するものが多い
- (5.1) (オ) 日本が世界をリードしている
- (27.0) (カ) 理解するのが難しい
- (44.0) (キ) 具体的な活動をイメージしづらい
- (3.8) (ク) 特に必要性を感じない
- (0.1) その他（ ）
- (5.5) 特にない
- (8.7) わからない

(M.T.=160.4)

## 3. 持続可能な開発のための教育（ESD）に関する啓発活動

Q4【回答票5】あなたは、広く国民が、ESDに参加するためには、どのような取組が効果的だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。（M.A.）

- (11.2) (ア) 家庭内での学習
- (48.7) (イ) 学校での学習
- (30.5) (ウ) 事業者における社員研修・社外への広報
- (10.5) (エ) NGOによる活動を通じた学習
- (25.7) (オ) 政府や地方自治体などによる講演会・研修会・シンポジウムを通じた学習
- (52.5) (カ) テレビ番組や新聞記事などを通じた学習
- (0.2) その他（ ）
- (5.3) 特にない
- (10.0) わからない

(M.T.=194.6)